

Uターン

地方にこそ
可能性がある

かたの
大阪府交野市
▼
千丁町



ひさみつ
齊藤 久允 さん

大阪にいた頃は仕事の傍ら高校サッカーの外部指導者をしていました。14年前に運動指導者として生計を立てるために、八代に移住しました。その後、個人事業主として活動を始め、1年半前から八代を中心に活動しています。子どもたちの運動指導や法人経営のコンサルタントなど、スポーツをととした地域づくりを行っています。

八代の人々は温かく受け入れてくれて、多くの人と出会うことができました。野菜や米などは知り合いから購入し、新鮮で生産者の顔が見える安心な食材を手に入れることができます。

私は、地方にこそ可能性があると考えています。今後はスポーツ関連の仕事に携わりたい人の受け皿を作り、働く場としての選択肢の1つに地域スポーツがあることを発信していくとともに、スポーツが苦手な人でも気軽に運動ができる場所づくりを進めていきたいです。



やつしろで暮らす

今回の特集では、東京や神奈川、大阪から八代市に移住してきた人に、
移住を決めたきっかけや市の魅力などを聞きました。
私たちにとっては当たり前の”やつしろ暮らし”の魅力を考えてみませんか。

Uターン

八代の風景が
好きだから

東京都町田市
▼
郡築1番町



やすゆき
中居 靖幸 さん

東京都内で鉄道会社に勤務していましたが、9年前に妻の地元である八代に移住し、肥薩おれんじ鉄道に就職して主任運転士をしています。旅行が好きで、九州には何度も来たことがあり、美しい風景も移住を決意する決め手の1つでした。

八代の良い所はのどかで過ごしやすく、景色が素晴らしいことです。特に八代海を挟んで眺める天草諸島や三角半島が好きで、中でも夕日が沈む時間帯がお気に入りです。八代の人とはとてもおおらかで温かい人が多く、東京出身の私にも親しく声をかけてくれます。東京よりも時間がゆったりと流れる八代での暮らしは、スローライフが好きな私に合っていると思います。

肥薩おれんじ鉄道では、YouTubeやTwitterなどのSNSでさまざまな情報発信を行っています。私は広報を担当しているので、住んでいるからこそ伝えられる八代の魅力も合わせて発信していきたいと思っています。

Uターン

地方創生に
関わりたい

東京都品川区
▼
上日置町



みか
松井 海香 さん

就職がきっかけで1年前に八代に移住してきました。地方創生を軸として企業進出のサポートやマッチング、自治体の観光支援などの仕事をしています。

八代で一番好きな所は八代海から見える景色です。休日は海沿いを運転したり、水鳥を眺めたりしています。

八代の良い所は、陸路の移動が便利なこと。高速道路のインターチェンジがあったり、新幹線が通っていたり、すぐにどこへでも行くことができます。また、会社が入居している建物のオーナーがお菓子や果物を差し入れてくださるなど、八代の人のおもてなしの心がうれしいです。

八代に移住してからは車を持ったことで行動範囲が広がり、キャンプや海のレジャーなどが増え、自然を満喫しています。

今後、外から移住してきた知見を活かしながら八代市民だからこその仕事をしていきたいです。

Uターン

八代市の良い
ところを伝えたい

海士江町▶東京都杉並区
▼
海士江町



ふかみず
深水 ひとみ さん

八代市内の高校を卒業し東京都内の服飾専門学校に進学しました。その後、東京のアパレルで企画を経験し、その後は営業アシスタントとして25年間勤めていました。1年前に家庭の事情で八代にUターンし、現在は熊本市内の書店で働いています。

移住する際はさまざまなことを決めなくては いけませんが、東京都千代田区にある、くまもと移住定住支援センターから、支援や県内の仕事の情報をもらいながらスムーズに移住することができました。

八代に帰ってきてからは、八代らしいものを活用してモノづくりを始め、休日にはもらったイグサを使った手まりやカゴを作っています。イグサは最もアピールできる八代の特産品の1つだと思うので、これから身近な人や興味がある人などに、イグサを使ったモノづくりの楽しさをきっかけに、八代の良さを広く発信していきたいです。

Uターン

八代で新しい
ことに挑戦

鏡町▶神奈川県川崎市
▼
鏡 町



桑原 健太 さん

高校は熊本市内に、大学は関東に進学し、就職で八代に帰ってきました。銀行に勤めながらきつ農家の祖父の手伝いをしている中で2年前に東京在住だった妻と結婚し、今年1月に祖父から農業を受け継ぎました。農家を継ぐ少し前には、若手事業者がビジネスと地域の課題解決について学ぶ「やつしろ未来創造塾」に参加しました。高校から八代を離れた私にとって、八代で人とのつながりを広げる貴重な機会になり、卒業後も塾生同士で情報交換などをして絆を深めています。

東京から来た妻も、妊婦健診の補助が受けられ、地域や子育て支援センターなどで温かく迎え入れてもらえたおかげで、子育てがしやすいと感じています。

農業を始めたばかりですが、育てた晩白柚がふると納税の返礼品に追加され、来年には甘夏ジュースのキッチンカー販売を始めるなど、新しいことにも挑戦しています。

移住定住



●移住支援金

最大100万円

東京圏から八代市へ移住し、就職や起業などを行う人に補助金を交付
・2人以上の世帯 100万円
・単身世帯 60万円

●移住・定住促進補助金

最大50万円

【8月から】

県外から移住した20歳から39歳までの若者や子育て世帯が、住宅を取得または賃借する費用に対し補助金を交付
・取得の場合 最大50万円
・賃借の場合 最大30万円

問合せ 企画政策課 ☎33-4104

住まい



●空き家バンク

所有者が登録した空き家などを、必要な人に紹介する制度です。物件の登録申込後に現地調査などを行い、登録の可否を判断します。登録された物件を利用登録者が賃貸または売買した際に補助金を交付。登録は無料です。

※これまでの売買契約実績：79件/累積登録物件113件中
現在23件をHPに公開中 ※令和4年6月時点

◆空き家バンク活用促進事業補助金◆

物件登録者と利用登録者が、売買契約または賃貸契約を締結した物件に補助金を活用できます。同一物件での利用は以下の①～③それぞれ1回限りです。事前に相談ください。

最大50万円

①不要物の撤去補助	②改修工事等補助	③引越し補助(市外利用者)
不要となった家財道具、敷地内の雑草や樹木、建物以外の構築物の撤去清掃など	物件の補修、修繕、増改築、畳の張り替え、屋根・外壁の塗り替え、設備の改善など	市外から市内に移住する人で運送業者に依頼して行う引っ越しにかかる経費
補助割合 1/2 限度額 5万円	補助割合 1/2 限度額 40万円	補助割合 1/2 限度額 5万円

◆空き家バンク登録物件の確認◆

市ホームページ「移住・定住情報サイト内」



不動産情報サイト「アットホーム」



※アットホームでは、全国の「空き家バンク」登録物件が確認できますが、登録物件以外にも掲載されているので注意してください。

問合せ 住宅課 ☎33-4122

私たち、いくら支援金がもらえるの？

【家族4人世帯の場合】

(父、母、子ども2人) ※子どもは中学生以下

- ・東京都から八代市へ移住
- ・市内の企業へ就職
※ワンストップjobサイトくまもとおよびルビ登録企業
- ・空き家バンク登録物件を賃借
- ・賃借物件の不要物撤去・改修工事を実施
- ・父または母が39歳以下

利用可能な支援金などの総額

最大180万円

【利用可能な支援金など】

- ・移住支援金……………100万円
- ・空き家バンク活用促進事業…………50万円
- ・移住・定住促進補助金…………30万円

※それぞれ要件があります。



八代市 暮らしの 支援メニュー



暮らす場所を決めるとき、住まいや働く場所、子育てや福祉などの制度が充実していることが、決め手の1つになるのではないのでしょうか。

八代市では、住みたいまち・働きたいまち・育みたいまちを目指してさまざまな取組を行うとともに、移住定住のサポートを行っています。

主な支援を紹介します。

子育て



やつしろ
あつたかねっと

●出産祝い金

【4月から】

3～10万円

令和4年4月1日以降出生のお子さんを対象に出産祝い金を支給(第1子 3万円、第2子 5万円、第3子以降 10万円)
※支給要件があり、申請が必要です。

●こども医療費助成

全額助成

0歳から18歳(高校3年生まで)の医療費の自己負担額を全額助成

●こどもプラザ/

地域子育て支援センター

無 料

乳幼児とその親が気軽に利用でき、親子同士の交流や子育ての悩みなどの相談受付を行います。(市内9カ所)

問合せ：こども未来課
☎33-8721

●妊産婦健診

助 成

妊婦健康診査に必要な経費(14回分)および産後21日以内に実施された産婦健康診査に必要な経費(1回分)を助成

●産後ケア事業

産後1年未満の産婦などで産後の心身の不調または育児不安がある場合、宿泊または訪問により、産後ケアを利用できます。

※課税所得などで自己負担あり

問合せ：健康推進課
☎33-5116

しごと



●就業資格取得 支援助成金

上限5万円

求職中の人や新卒5年以内で市内の事業所に在職中の人を対象として、就業に有利となる資格や技能向上に役立つ資格の取得にかかる費用を助成

助成対象：講座の受講費用、教材費用、試験の受験費用、資格の登録費用

助 成 率：1/2
上 限 額：5万円

問合せ：商工・港湾振興課
☎33-8513

《雇用・創業》

●商工・港湾振興課
☎33-8513

《就職相談窓口》

●一般社団法人
八代圏域雇用促進センター「フレシー」
☎37-8772

●新規就農者育成 総合対策

年150万円

次世代を担う農業者となることを志向する人(50歳未満)の研修や就農にかかる費用を助成

就農準備資金

就農前の研修期間の生活安定を支援
交 付 額：150万円/年 最長2年間
研修機関：JAやつしろなど

経営開始資金

就農直後の経営確立を支援
交 付 額：150万円/年 最長3年間

問合せ：農林水産政策課
☎33-4117

《就農》

●農林水産政策課
(支援メニューの相談)
☎33-4117